

# 会長あいさつ

東京秋工会 会長  
佐々木 進  
(昭和40年採鉱科卒)



東京秋工会の皆様には、益々ご清祥のこととお喜びを申し上げます。また、平素から同窓会へ格別のご支援、ご協力をいただいていることに、厚く感謝申し上げます。

さて、私諮らずも去る令和2年3月の役員会におきまして、三平俊悦前会長の後を受け、東京秋工会の会長に選任されました。三平前会長は、2007年(平成19年)11月17日(土曜日)の同窓会総会におきまして、幹事会の審議答申のもと澤木元会長の勇退をうけて、会長に選任されました。三平前会長は、11年にわたる長い間、東京秋工会発展のために、多大な功績を挙げられたほか、卓越した指導力と率先垂範の姿勢で当会に貢献されました。ここに深甚なる敬意と感謝を表する次第であります。大変にありがとうございました。今後は名誉会長として、何かとご助言をいただくこととなりますが、よろしく願いいたします。

私もこうした前会長並びに歴代会長の築かれた質実剛健の校風と伝統を引き継ぎ、東京秋工会を更に一層充実・発展させたいと心を引き締めております。

会長としては誠に身に余る重責であります。皆様のご指導、ご鞭撻を賜りながら、精一杯勤めてまいりますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

私の活動方針としましては、

- ①同窓会組織の活性化・充実
- ②広報活動の充実
- ③会員相互の親睦・業務上の情報交換の推進
- ④母校発展の寄与

- ⑤財政基盤の確立
  - ⑥他校との交流・親睦
  - ⑦秋田ふるさと応援団の支援・協力
- 等でありますが、積極的に推進していきたいと考えております。

今年は素晴らしい諸先輩並びに役員の方々が築いてこられた、東京秋工会発足80周年記念に当たる節目の年であります。本年の11月7日・土曜日にはアルカディア市谷において、盛大に祈念式典の開催を考えておりましたが、昨今の新型コロナウイルスの流行により、同窓会員の健康と安全の面から残念ながら総会「金砂健児の集い」を中止にしましたことをご理解願いたくお願いします。来年には盛大に開催できることを望みます。

昨年の総会「金砂健児の集い」では、冒頭の講演で「地区別・金砂健児の集い」として、当会の現況と今後の活動を「活性化委員会」から報告をしました。これまでの総会ではゲストの方々の貴重な講演並びに演奏演舞などを披露していただきましたが、当会会員の減少について、現状の把握と課題に対しての共通理解とご協力をお願いした次第です。

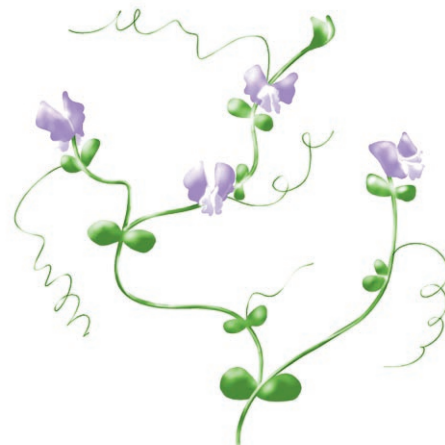
「活性化委員会」は2018年11月に佐藤弘(S40M)氏を委員長として発足したものであり、若い会員の入会が少ないことに直面している会の課題を解決するために始まりました。会員登録をしている1650名の会員を8地区(東京23区、東京多摩、神奈川、千葉、埼玉、茨城、群馬、栃木)に分け、担当地区長を選出し、2019年6月から各地区で「地区別金砂健児の集い」を開催しました。今年1月から2月にかけて各地区で「新年会」が盛況に開催されました。これからも、会員増の期待が寄せられています。この「活性化委員会」では、多種多様な「同好会」が立ち上げられ、各地区をこえてそれぞれの興味にあった同好会に大勢の会員が参加されることを願っています。

東京秋工会の活動については、毎月行われる定例の役員会であり、事業計画の審議、報告や会報KANASAの編集会議あわせて詩吟同好会・民謡同好会の定期練習会等を行っております。

会報に関しては嵯峨良平編集長がそれぞれの原稿を取り纏め校正・印刷を経て作成され、毎年役員が一同に会して約1700部の発送作業を行い、会員の方々に送り届けています。

以上のように、会員の方々に満足してもらえる同窓会並びに次世代に安心して継承できる同窓会を目指し、役員一同着実に歩を進めてまいりたいと考えておりますので、会員の皆様におかれましては同窓会活動に積極的なご協力をお願いいたします。

最後に、会員皆様の益々のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。



時代を先取りした技術の研究に努め、顧客のあらゆる要望に応える事により、自然に調和したより良い生活環境を創出しています。

測量調査  
土木設計  
地盤調査  
補償コンサルタント  
土地家屋調査



株式会社 三山コンサルタンツ

代表取締役社長 佐々木 進 (昭和40年採鉱科卒)

〒164-0001 東京都中野区中野3丁目3番地1

TEL 03-5328-7020 FAX 03-5328-7021

E-mail : s-sasaki@miyama-con.com

一般社団法人 送電線建設研究会  
送電線測量設計協力会